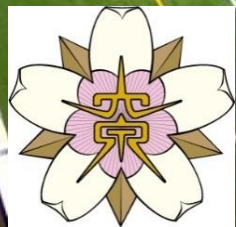


東京都立大泉高等学校附属中学校

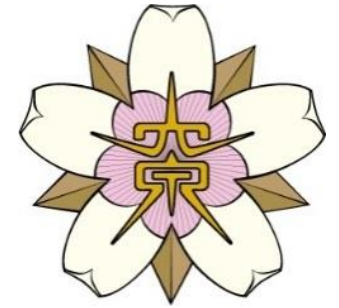


中学 I 学年探究活動報告

東京都立大泉高等学校・附属中学校
知的探究部 小川 登子

01 東京都立大泉高等学校附属中学校

・ 東京23区 北西部 練馬区東大泉五丁目



・ 東京都立大泉高等学校（母体校）

・ 平成22年開校 併設型中高一貫校

・ 2018年 東京都教育委員会より

知的探究イノベーター推進校の指定

学校全体で探究的な学習を推進する

01 探究活動の6年間

卒業論文型

アクション型

中学
1 個人探究

調べ学習を中心とした
地域探究

中学
2・3 グループ探究

社会課題への
行動を起こす探究
マイプロ

高校
1・2 個人探究

興味・関心から
出発した
課題研究

高校
3 選択

文理を融合した
課題研究

正解がない問い

01 知的探究部と学年との関わり

知的
探究部

探究活動全体のプログラム設計と推進

各学年

「総合的な学習の時間」

「総合的な探究の時間」

02 中学 I 学年の探究活動

0
stage

**入学前課題
自己探究
自己分析**

自分の内面と向き合い、
興味・関心を掘り下げ、
自己を知り記録する

1
stage

**練馬フィールド
ワーク I (班)**

地域探究を通して、
問いの作り方や情
報整理の仕方など
を学習する。

2
stage

**練馬フィールドワーク II
(夏休み/個人)**

自身の感性で捉えた、練馬の魅
力の維持を阻害する課題を取り
上げ、個人で現地確認する。

02 中学 I 学年の探究活動

3
stage

文化祭

練馬フィールドワーク I から II を通して、練馬区の課題に対する問いを立て、発表する。

4
stage

OIZUMI AWARD

5 学年合同の探究発表会で、一年間取り組んできた成果を発表する。

5
stage

大泉会議

練馬区の課題解決に向けてグループ討議を重ね、合意形成を図る力を育てるとともに、区政への関心を高める。

02 中 I 探究 採用テキスト



STEP 01 “地域の魅力”とは？

STEP 02 “地域の課題”を発見 現地で確認

STEP 03 “地域の課題”の要因の調査と発表

STEP 04 “地域の課題”の解決策をどう実行するか



02 中 I 探究とテキストを融合



STEP 01 魅力発見

探究とは何か？
住みつづけたいまちとは？
練馬FW I (班)

STEP 02 課題発見

上野浅草探究遠足
統計分析基礎講座
プレゼン資料作成講座
資料のデザイン入門
夏休み練馬FW II (個人)

STEP 03 解決策提案

文化祭 中間発表
高1 探究 中間発表会見学
学術的調査の進め方
アンケート調査依頼
情報の集め方・分析方法
引用・参考文献の書き方
OIZUMI AWARD

STEP 04 解決策実行

大泉会議
SDGsの観点に基づき、
班による討議を重ね、
練馬区政に携わる
方へ提言する。
集団の運営の仕方を学ぶ。
地域課題における
つながりを考える。
探究学びの振り返り
自身の変容を振り返る

03 わたしの好きなもの ベスト3

STEP 01
魅力発見

わたしの好きなもの ベスト3

第1位 ○○○○○

第2位 ○○○○○

第3位 ○○○○○

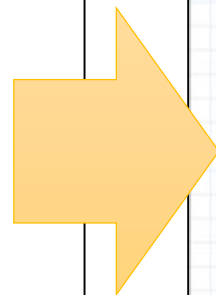
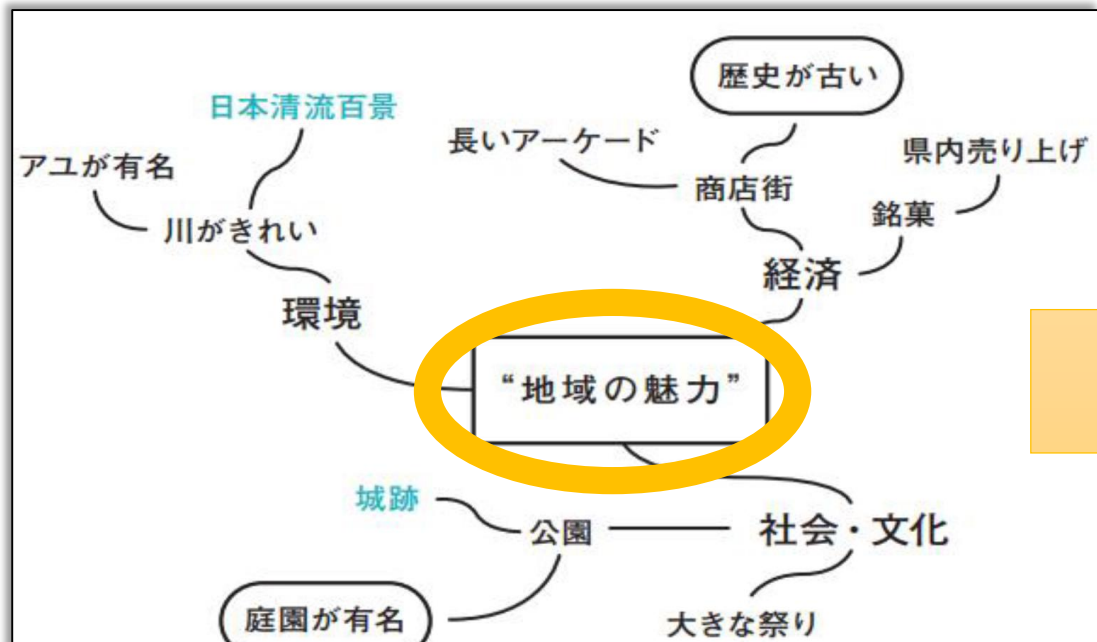
自分たちの地域には
どのような**魅力**があるのか？

➡**“魅力”**の定義を明確化

私にとって**“住み続けたいまち”**の要素はなんだろうか？

ウェビングマップを使って、「環境」「社会・文化」
「経済」3つの観点から書き出してみよう。

03 私が住み続けたいまちの要素



1 私が住み続けたいまちの要素を書いてみよう

PRESENTATION

経済

環境

私が住み続けたいまち

社会・文化

SDGsで配慮すべき3つの領域

環境	社会・文化	経済
山	建造物 施設	観光資源
川	行事	農業
海	くらし	林業
大気 空気 空	伝統工芸	水産業
景観 街並み	制度 など	畜産業
		交通 など

03 「住み続けたいまち」 保護者インタビューしてわかったこと

✳️環境的な要因が大きいのだとわかった。✳️自分の住んでいるまちの良さがわかってきた。✳️安全なことが大切だと分かった。✳️どの世代も生活する上で必要な建物や周りの雰囲気「住みつづけたいまち」で大切なのだとわかった。✳️年齢によって、住みつづけたいまちの特徴も変わってくると分かった。✳️私は自然を大切にする派だが、母は都会と田舎の真ん中を推していた。年齢や好みによって大切にするものは違うということがわかった。✳️自然が豊かな場所に住みつづけたいと思う人が多いのかもしれない。安全な生活が送れるかどうか、住みつづけたいまちの要素となっている。✳️利便性と環境が住みつづけたいまちにつながっている。✳️子育てしやすいというのは母の立場上の考えである。家族内で立場や職業も要素に影響すると思った。✳️治安がいいことは住みつづけるにはとても重要だと分かった。✳️自分が想像していなかった答えがでてきて、視野を広げることができた。✳️心安らぐ場所と便利さはどちらも大切。✳️施設と自然は自分たちで作れるのではと思った。

04 練馬区の課題発見

STEP 02 地域課題の発見

自作

地域探究 夏休み練馬フィールドワーク

目標：①夏休みに個人で行う調査内容について確認し、準備を始めよう。
②練馬区の魅力”から見えてくる、課題を捉えよう。

📄 1 本日から文化祭当日までに取り組むこと（ゴールを見据えて）

～7/20(木) 1学期終了式	自分の感性で見つけた、練馬区の「住みつけたいまち」に関連する課題を設定する。 調べる内容を具体化する。【ワークブック p.22】	練馬区の良さの中にも、課題に感じたことはなかっただろうか？
	インタビュー先へのアポイントを取る。(電話・メール) ・みどりのまちづくりセンター*より協力先の紹介あり。後日連絡 ・その他、個人で希望する施設・担当者	誰に、何をインタビューしたいのかを事前に決めてから、アポイントを取る。
夏休み期間中	現地調査を行う。(訪問・インタビュー)【WB p. 23】 文献調査を行う。 この課題とSDGsとのつながりについてもまとめる。 アイデアを創出するために新聞記事の例を参照する。	インタビューに応じてくれた場合は、最後に感を伝えること。 WB 巻末資料
	調査結果を文章化する。【WB p. 21, 24-25】 アウトラインに沿って情報を整理する。 PPT シート 8 枚に発表資料を作成する。	目的に合わせて情報を取捨選択する。 簡潔にまとめること。
☆ 8/21(月)	I 学年 Teams の「課題」に提出する。	8/21(月)締切 厳守
8/22(火) ～ 8/31(木)	先生から Teams でフィードバックあり。 それに基づいて修正し、合格するまで再提出する。 合格したら、 <u>自宅</u> で PPT 資料を印刷し、 <u>始業式に担任へ提出する。</u>	印刷済みの PPT 資料 8 枚を、 <u>始業式に提出</u>
9/6(水) 総合 発表準備	文化祭での発表に関する確認をする。 PPT 資料を模造紙(1 枚)に貼り、発表の準備をする。	話す内容は覚えておく。 立ち位置、視線、身振り
9/7(木) 総合	本番を意識した練習をする。 立ち位置、視線の向き、声の大きさ、ジェスチャー	セリフは暗記する。模造紙に向かって話さないように。
9/9(土) 9/10(日)	文化祭当日 中間発表(個人)	自信をもって臨もう！

文化祭（中間発表）資料レイアウト

(表紙)	4 練馬フィールドワークⅡで見つけた魅力と現状
1 私が理想とするまちづくり	5 理想のまちとのギャップ
2 練馬フィールドワークで見つけた魅力と現状	6 ギャップが生まれている要因
3 上野浅草探究遠足で見つけた魅力と現状	7 今後の展望 謝辞

05 要因の根拠を学術的に検証しよう

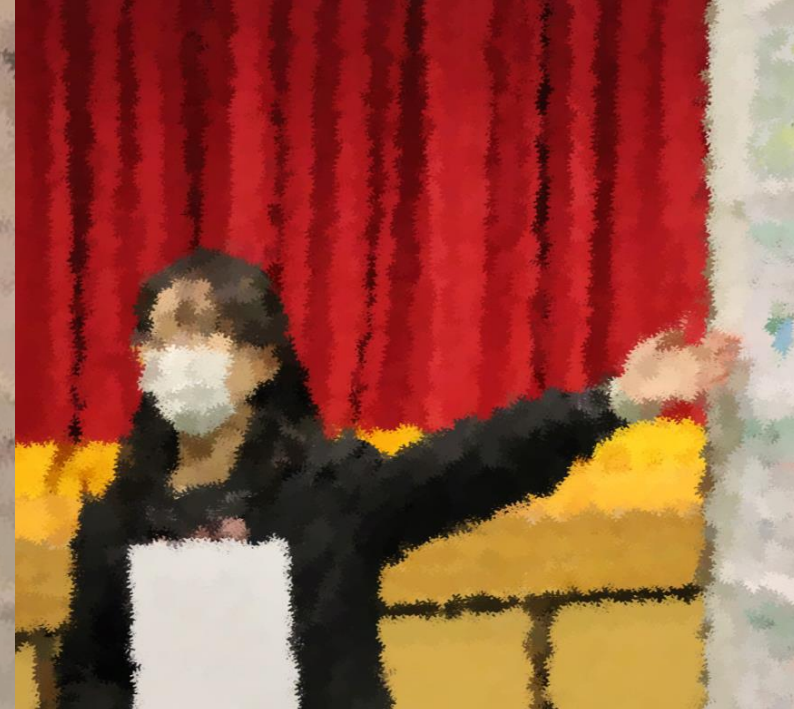
問いを絞らせてデータを収集させる（2学期）

- 担当部署に自分で依頼する（電話・メール・手紙・訪問）
- インタビュー 許可をとって会話を録音。手書きで記録を取る。
必要に応じてコード化し会話分析させる。
- アンケート調査 Forms/紙で調査票を作成し、回答依頼。
- 文献調査 データベースサイトの活用



入手したデータの整理、集計、分析 ➡ 実態の考察へ
倫理的なルールに配慮させる。

発表会



5学年合同 探究発表会 Oizumi Award 2023

05 OIZUMI AWARD 2023 中 I タイトル抜粋

- 自治会への加入者を増やすために何ができるのか
- 練馬区が区民の意見を多く集めるためには
- Making Nerima a Language-rich Town -The Reality of English Language Education-
- 高齢者や障がい者にとって住みやすいまちとなっているか
- 練馬の緑被率の変化と野鳥の生息数
- 石神井公園の近辺に住む人が石神井公園により関心を持てるようにするには
- 障害者や高齢者が通いやすい施設に最適なバリアフリーの提案
- **石神井城から活かせること**
- 練馬の農業を地産地消につなげるためには
- How to Make Nerima an Ideal Town - Coexistence with the Heat-
- 練馬区を外国人も住みやすい街にするには -多文化共生の視点から考える-
- 獣医師の働きがいの向上を図る
- 地産地消の取り組みについて
- 練馬区民の生活をより豊かにするには -2つの視点における福祉の充実-
- 地域全体が協力して活気あるまちにするにはどうすれば良いのか
- 練馬区を住みやすい街にするために -練馬区の強みと改善点-

05 OIZUMI AWARD後の感想

■ 先行研究から自分の考えの根拠を明確にし、説得力のある発表にした。 ■ 自分で実験をすることにしたので、その準備が大変でした。 ■ 調査の結果と見つけた欠点を補える方法を考えるのが難しかったです。 ■ 練馬区についてのパンフレットを回収するのに様々な場所に訪れたこと。 ■ 深く調査することを意識して探究を進めたこと。 ■ 信頼度の高いデータを常に使用することを意識した。 ■ 原因と結果、課題に対する解決策などがしっかり結びつくように伝えられた。 ■ 具体例を多く出し、納得してもらいやすい発表にした。 ■ 結論に至るまでの過程を明確にし、一貫性を意識した。 ■ 論理的に文章を作ることや、質疑応答に詳しく適切に答えることができた。 ■ 聴衆からくるかもしれない質問を想定して、答えになる補助資料を準備しておいた。 ■ 資料探し、パワポの構成、原稿づくり、データ分析、グラフ作成 ■ 練馬区役所へ自分でアポをとり、インタビューをした。言葉遣いだけでなく質問内容が的確かを事前に何度も確かめる必要があり、難しかった。 ■ 文化祭での発表に比べて、質問の回答がよくできていたと思う。 ■ 大勢の人の前で堂々と話すことが出来た。 ■ データを用いて論理的に考えることができるようになった。 ■ 数値を用いて比較し考察した。 ■ 練馬区という同じテーマだけど、いろいろな調査方法や分析、考察があり、課題解決策の具体案が異なっていたことが面白いと思った。 ■ 練馬区のさまざまな問題の現状、解決方法などいろいろな考えを知ることができた。 ■

05 変容の手応えを感じた、生徒の感想

今回自分が選んだテーマで調査を進めていったが、調査を進めれば進めるほど、自分が想定してものとは違う社会課題に遭遇した。それは、本来自分が見えていなければいけなかったことだったかもしれない。自分の調査が浅かったこと、本当の意味での地域課題のつながりが見えていなかったことを痛感した。結局どうしたらいいかわからなくなり、今回のAWARDの発表には上手くまとめられなかったが、中Ⅱの探究でも同じテーマで取り組み、深めていきたい。

05 大泉会議（探究総まとめ）

STEP 04 解決策提案

「練馬区SDGs先進度調査の結果を踏まえ、課題改善に向けたアイデアを考える」というテーマで学年で話し合い、練馬区政改革担当課の方に提言する。

- 結果の分析→どの点が練馬区の課題か？
- それが課題となっている原因は？
- 課題の改善のためにできることは？
- それぞれの分野での課題・改善策の発表
- 班としてのアイデアを合意形成
- クラスとしてのアイデアを合意形成
- 学年としてのアイデアを合意形成

- その提案は実現可能か？
- 調査データ・練馬区の取り組み・他自治体の取り組み、学術論文、新聞記事などを参考にしているか？
- 話し合いを行うことで、よりよいアイデアを創出することができるか？

06 生徒の探究活動を支える共同体

探究活動プログラム設計と推進
部内の相互理解・相互支援

知的
探究部

学年
探究担当

知的探究部との連携

学年
主任

何でも相談できる雰囲気
生徒連絡・実施時の協力
学年団への情報共有

練馬FWⅡ
体験/調査
協力団体

課題発掘
セミナー
協力団体

中Ⅰ
探究

学年
教員団

生活指導
ワークシート回収時の
係生徒への呼びかけ
オンライン実施時の協力

練馬区
地域の
方々

練馬区
教育
委員会

練馬
区役所

教科

教科の専門性を生かした指導助言
統計分析の基礎知識講座
スライドのデザイン講座
英語のプレゼン指導

06 最後に

- 中1生が理解しやすい表現を使い、知りたくなる提示方法を工夫する。
- 学習過程の記録（習慣づけの指導）
- 生徒の「できるようにになりたい」という気持ちを大事にする。
- 自分の足で歩き、自分の目で見て、心で感じることの大切さ
- 仲間の学びと変容を共有する場をつくる。
- 学術的な視点と指導方針をゆずらない。
- 自分を取り巻く社会との関わりと、知識を結びつけさせる。
- 教師自身も常に勉強

ご清聴

ありがとう

ございました